



発行所
美濃加茂市
災害対策本部
電話2111番

印刷所
美濃加茂市太田町
可茂新聞社
電話2515番

台風災害特報

昭和34年10月3日発行 (第3号)

罹災者復興資材

瓦五千枚獲得

民間復興資材斡旋

対策本部員を各地に特派

○民間復興資材を斡旋するた

めに係り各地に特派する

とともに、市内各業者に対し、家屋復旧へ市内の協力を要請しその体制を整えた。購入は岐阜市、その他より獲得した資材を市内業者に委託したので、資材購入希

望者は全半壊住家の罹災證明を示して購入出来るように措置した。

○斡旋資材は、「ガラス」は台風前の協定価格で、市内各業者からいくらでも要求に応じられる。又、「瓦」五千枚を獲得したので、罹災證明をもって古井連絡所前加登屋で販売する。(歓迎意) 基格は焼付平瓦

市災害復興資金融資の受付

特報第二号で市災害対策要項をお知らせしましたが、全額(住家五万円(仮設住宅該当者を除く)、半壊住家に二万円

県下トツブ 仮設住宅六十一戸 市内建設業者で建設に着手

市内建設士建築者と仮設住宅建設の契約を結び、一週日中に着工建設にかり、罹災者に夫々供与することになった

○仮設住宅の規模
建坪五坪、六畳一部扉押入半坪、炊事場一坪、庭半坪
屋根平トタンふきとして建築する。

住家全半壊罹災者の国民健康保険 上水道料金納入を一時猶予

住家の全半壊罹災者については、とりあえず十月納入の国民健康保険税(四期分)、上

水道料金(九月分)の納入を一時猶予することになった。

台風その後

十月二日 (日程3)

○各町教護主任者会議(午前八時)

○民間復興資材獲得に各地へ係員を特派。

○神社折損立木の市内消化について氏子総代と協議要請した。

○渡辺市長、県下災害市町村長協議会出席の大野副総裁、村上建設相、福田農相に中議を代表して災害復興に陳情(岐阜)

義援金 (その二)

▽十万円 正眼寺祝補逸外氏
▽千円 古井町協坂三津雄氏
▽二万円 美濃加茂市職員一同
▽本紙「台風災害特報」発行について災害等で繁忙を極める中を印刷を願ひ、広報による民心の安定に尽して戴く可茂新聞(佐藤三治郎氏)に感謝する。

四日夜は全市に

電灯がつく予定

電話も明日は全線修復旧

十月三日午後十時調べ

電 気

【太田営業所】下米田が未だ復旧していないが、四日中に下米田を始め電燈、動力線は全線復旧の予定。高庄関係は全部三日に復旧した。

【開業場所】伊深、三和は本日に家庭電灯のみ、大体完了。山之上、加茂野の一部残っているのも四日中に復旧明瞭は大体明るい夜が迎えられる。

電話線

【美濃加茂電報電話局】市内線百回線が未回復、四日

民間復興資材

—その二—

一面の再興資材について次の通り資材が一両日中に入荷します。全半壊住家の震災者證明示をして市内業者で購入下さい。「並トタン」大体需要に応じられるよう入荷。「釘」八分一寸、一寸二分一寸六分二寸以上八十タールが入りましたので業者で購入下さい

中に復旧通信可能見込。三和も復旧した。

【開通電報電話局】伊深、加茂野連絡所を始め大体復旧完了、通話出来るようになった。

罹災住家の調査について

調査について

台風通過後二十七日午前八時四十分災害救助法発令と共に県災害対策本部に対し、同日中に各種にわたる被害報告の提出を要請せられたので調査班を各町別に編成し、限られた数時間内に調査をした。特に全半壊の住家については特にその程度及び区分の判定の困難性と調査が煩雑にわたつたので、罹災者の方に何かと御迷惑をかけたことを深くお詫び致します。尙この調査や急接物資の配分などについて、自治会長さんには何かと御迷惑をかけたことと存じますが、こうした非常事態中で御座居りますのでよろしく御座願います。

自衛隊出動

通信本復旧のため

市職員二万円を災害対策本部に寄託

市内電信等通信施設による救済措置の万全を計るために、電話局の必死の復旧作業により復旧を四日に完了したがこの本格的復旧のために、自衛隊四十名が五日より一週間、市内古井公民館に駐屯して、美濃加茂市を中心に復旧作業にかかることになった。

災害発生とともに、救護及び復旧対策に罹災者の辛苦を身に帯し、日夜努力している市職員一同は調査の進むにつれて、この援助を一刻も早くするよう、その一助になればと二万円を対策本部を通じて罹災者におくるよう、十月二日本部に寄託した。

台風第十五号災害対策本部のしくみ

二十六日より市役所本館一階 不眠不休活動を続けて参りま全部に設置された災害対策本部は次の通り、各々担当して



後記

○市災害再興資金融資は

県下市町村にその例もない程、罹災者救助の施策として他市町村より適切な救助の対策として回合せがしきりであるのを始め、仮設住宅、救護物資も県下のトップをきつて迅速に措置されていきます。どうか対策本部は懸命の努力をします。この結果が刻々とみにつて行くことを祈ります。○「災害特報」は県下の市町村でまだ出していないのですが本部ではあらゆる努力を払って罹災者の復旧措置をお伝えし、且つ民間の安定と市民一致団結再興への努力を結集するために刻々の情報をとどけていきます。